

一瞬、一瞬がドラマ、楽しかった私の大学生生活60年！

河盛 隆造 先生

Ryuzo Kawamori, MD, PhD

順天堂大学 名誉教授



日時：2026年5月14日(木) 16:00～

場所：生体調節研究所1階 会議室

(予約不要・直接会場にお越しください)

私の研究生生活は1971年、トロント大学Banting & Best Institute で始まった。大量の radioisotope- labelled glucose を注入して、正常犬、脾全摘犬の食事負荷時、ランニング時の肝糖産生率、筋糖取り込み率などを詳細に検討した。1974年からは大阪大学第一内科で、bedside-type artificial pancreas, さらにneedle-type glucose sensor を開発し、wearable artificial pancreas で1型糖尿病患者の血糖管理を可能にした (Lancet 1982)。Artificial pancreas をresearch tool として、stable isotope-labelled glucose を駆使し、肝、筋、脂肪組織での糖利用率を詳細に計測し、“糖のながれ”を正常化する治療法を提案、実践してきた。

高血糖の持続で何故インスリン分泌能が低下するのか？ 細胞レベルでの緻密な研究を研究室仲間が次々と発表してくれた (Ebato, Fujitani et al, Cell Metab 2008 ; Tamaki, Fujitani et al, J Clin Invest 2013) など。

順天堂大学スポーツロジセンターでは、身体活動の重要性を一見、健常に見えるヒトでの検討を行い、成果を次々と発表することができた。長年にわたる、国際的なbrain stormingでの問題点発掘が、研究テーマを見出してくれた。多くの学問仲間、研究室仲間感謝している。

[学歴、職歴]

1968年3月：大阪大学医学部 卒業

1971年9月：カナダ・トロント大学医学部研究員 (～1974年3月)

1974年4月：大阪大学第一内科医員・助手・講師歴任

1994年9月：順天堂大学医学部教授 (内科学・代謝内分泌学講座)

(～2008年3月) 兼カナダ・トロント大学医学部教授 (生理学) (～現在に至る)

2008年4月：順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌学講座特任教授、ならびに大学院医学研究科 (文部科学省事業) スポーツロジセンターセンター長 (～2026年3月)

2016年4月：順天堂大学名誉教授 (～現在に至る)

[受賞歴]

* 朝日学術奨励賞 (1985年) 「治療制御システムとしての人工膵島開発に関する研究」

* 持田記念学術賞 (1993年) 「人工膵島の開発とその臨床応用による臓器別“糖の流れ”機構の解明」

* 日本糖尿病学会ハーゲドーン賞 (2006年) 「糖のながれ”における肝・糖取り込み率規定因子の解明」